

# 地域の活動拠点のあり方検討会 ニュース

In 富木島ふれあい

令和7年度 No.001

発行者:

東海市総務部市民協働課

## 地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 富木島ふれあいコミュニティでは、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「ふきしま将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）から、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。
- 令和7年度（2025年度）第1回は6月21日（土）に開催しました。（参加者10名）
- 令和6年度（2024年度）の検討経過をまとめた「あり方検討会のまとめ」でふりかえりを行った後、各施設の最新情報の提供を踏まえ、今年度の進め方について意見交換を行いました。引き続き、地域の合意形成を積み重ねながら検討を進めます。

## 地域の各施設の最新情報を共有

施設(所管課)	内容
富木島公民館 (社会教育課)	・4月から17～21時の施設管理をシルバー人材センターに委託 ・7月11日から平日の夜間に空き室を学習スペースとして開放(中高生対象)
富木島児童館 (こども課)	・4月から週1回「おにぎりDay(持参した昼食を食べる)」を実施(乳幼児親子対象) ・昨年度、利用者数は約12,000人(市内の児童館で最多 ※特に乳幼児が多い)
上野台健康交流の家 (高齢者支援課)	・健康交流の家ではサロンを実施しており、日中にスタッフが常駐 ・昨年末、駐車場(27台)整備

## 今年度の進め方について意見交換！

- 以下、意見交換の主な内容です。

テーマ	意見・議論内容(要約)
コミュニティ専用 の事務室・作業室	・地域運営体制のあり方を考えるうえで、コミュニティとしてやりたいことという原点に立ち返り、コミュニティの事務室・作業室の必要性も含めて検討する必要がある。 ・公民館で夜間の時間帯にスタッフが常駐するようになり、課題のひとつであった資料の印刷等ができるようになった。施設のあり方については継続検討が必要。
コミュニティセン ター化に伴う 管理・運営等	・市直営の施設ではなくなり、指定管理者制度の導入により地域の方による管理運営になる。 ・組織体制や運営方法について理解を深める必要がある。 ・施設使用料は受益者負担率が上がることにより上昇する。 ・施設所管課が社会教育課から市民協働課になる。 ・コミュニティとして活動の拠点が必要ということになり、地域の合意形成が得られれば、公民館をコミュニティに譲ることが良い方法だと思う。
コミュニティセン ターの整備時期	・将来的に小学校建替えの時期にあわせて、地域密着型施設が集約化・複合化されるのであれば、現時点で費用を投じて建物を整備する必要はない。 ・将来的な整備時期も踏まえ、現時点ではどのような拠点のあり方がよいのか見極める必要がある。
今後の検討会の 進め方	・拠点施設の整備等に関する考え方について共有し、検討会としての方向性を確認する。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話:052-613-7526  
0562-38-6141

Email  
[chiiki@city.tokai.lg.jp](mailto:chiiki@city.tokai.lg.jp)